

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8241
担当部課名	環境保全部	環境保全	課	環境検査 係
事務事業名	公害監視設備整備費		事業コード	21130

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	地球環境の保全に向けた取り組み	~63 年度
施策名	第3施策	公害防止対策の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

環境基本法、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
工場等発生源監視や本市域の環境監視のための監視、測定機器類を整備し、公害防止対策に役立てる。		大気、水質、騒音、振動、悪臭及び事業場	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> 大気等監視設備の更新(窒素酸化物計、車両走行台数計) 分析機器等の整備(ホウウツヤ等3台) 大気測定局の設置(田名:窒素酸化物計等) [総事業費] 役務費		環境測定・分析機器の充実 環境検査センター機器の充実 有害化学物質等による環境汚染の未然防止体制の整備検討 水質・大気常時監視測定局における監視体制の充実	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	田名地域への大気測定局の整備
		計画年次	13年度~13年度

4 評価指標

指標名	調査の円滑な運用	分析機器の更新等による省力化の推進
指標式	調査実施種類 / 調査計画種類	(省力化(分析時間の短縮、電気使用量、使用する試薬量の削減等)が図られた更新機器数 / 全更新機器数) × 100
指標設定の意図	環境監視等円滑な運用から成果を表す。	更新、新規導入により、省力化が図られた分析・測定用機器の割合を示す。

5 目標と実績

[金額単位:千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	1	1	a 1	b 1	1
指標	33	25	c 50	d 33	50
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	2,254	12,217	32,071	36,267
	人員・時間数				
	人件費				
	その他経費				
	合計	2,254	12,217	32,071	36,267
特定財源	0	2,925	5,145	7,125	0

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 125.8%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
a	1.0	c	50.0
b	1.0	d	33.0
× 100= 100.0%		× 100= 151.5%	
e	f		
× 100=			
理由 :	公害関係法令の改正等による監視対象の増加に対する対応や監視体制の充実を図るため、新規に機器等の導入を図ったため。また、老朽化による機器の更新時に、省力化対応の機種が市販されていなかったことによる。		

(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	環境に対する意識の高まりや監視対象項目の増加等に対応できる測定体制が求められている。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	監視業務は、広く対象について常時測定・監視する必要がある。今後の監視対象については、代表的な項目で代表させることが可能か研究する余地がある。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	分析業務については、民間業者への委託も有効なことから、必要に応じた利用を図っている。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	規制項目の分析だけでなく、未知物質の成分分析などの要望が寄せられるが、対応できていない。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	環境監視は、工場等の規制指導など各種の環境保全施策を実施する上で基礎的な作業となる。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> <p>分析・監視体制を整備するにあたり、より多くの市民のニーズを取り入れることや環境保全施策を推進する上で、どのような測定が求められているか、研究する余地がある。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> <p>分析機器の整備にあたっては、類似施設である市衛生試験所との機器の共用を図り、有効利用に努める必要がある。</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	測定機器等の整備にあたっては、リース等を導入している自治体もあるため、機器の導入にあたっては、経費削減の1手法として有効性を検討する必要がある。また、保有機器の有効活用について、衛生試験所との共有を進める必要がある。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	環境監視は、工場等の規制指導など各種の環境保全施策を実施する上で基礎的な作業であり、上位施策である公害防止対策を推進する上で必要不可欠な事業である。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--